

令和7年度 第3回 在宅医療×介護連携@つちう Labo 参加者アンケート

- 日 時：令和7年10月28日（火）19時00分～20時30分
- 場 所：土浦市2階 男女共同参画センター 研修室1・2
- テーマ：自立支援と重度化予防のための支援
- 出席者：47名（アンケート回答率：93.6%）

1. あなたの年齢、職種を教えてください。

【年 齢】

	人数	割合
20代	6	13.6
30代	10	22.7
40代	8	18.2
50代	14	31.8
60代	5	11.4
70代以上	1	2.3
無回答	0	0.0
合計	44	100.0

【職 種】

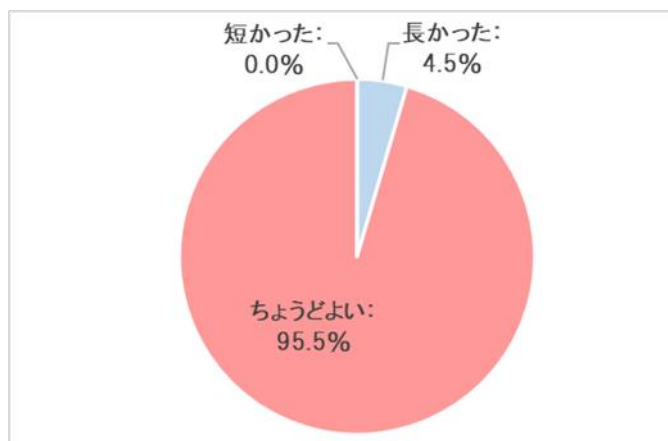
	人数	割合
医師	0	0.0
歯科医師	0	0.0
歯科衛生士	0	0.0
薬剤師	22	50.0
保健師	1	2.3
看護師	1	2.3
理学療法士	1	2.3
作業療法士	0	0.0
言語聴覚士	0	0.0
精神保健福祉士	0	0.0
社会福祉士	1	2.3
介護支援専門員	14	31.8
介護職	2	4.5
管理栄養士(栄養士)	1	2.3
生活相談員	0	0.0
事務職	0	0.0
無回答	1	2.3
合計	44	100.0

2. 本日の研修会について

（1）講演についてお伺いいたします

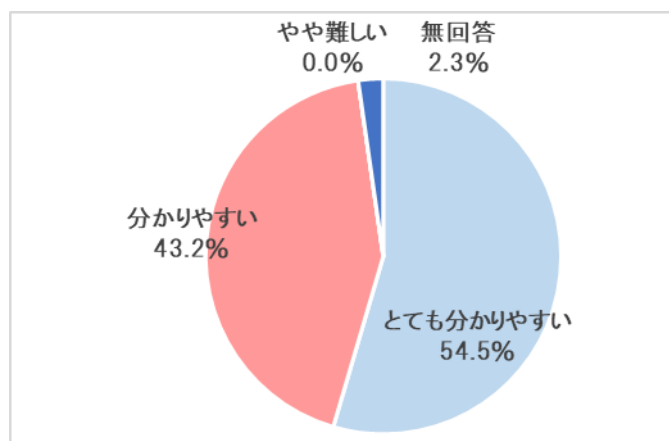
①講演の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	2	4.5
ちょうどよい	42	95.5
短かった	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	44	100.0



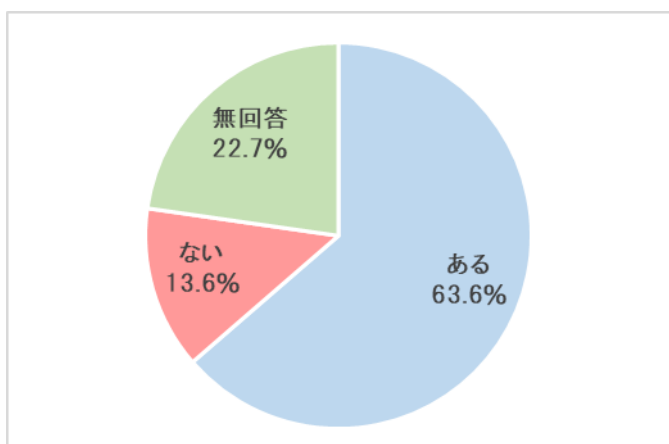
②講演の内容は、いかがでしたか？

	人数	割合
とても分かりやすい	24	54.5
分かりやすい	19	43.2
やや難しい	0	0.0
難しい	0	0.0
無回答	1	2.3
合計	44	100.0



③本日の講演内容で、今後取り組もうと思った内容がありますか？

	人数	割合
ある	28	63.6
ない	6	13.6
無回答	10	22.7
合計	44	100.0



【「ある」と回答した方：具体的な内容】

(ケアマネージャー)

- ・多職種連携の進め方
- ・シャドーワークについて見直したい
- ・ケアマネ業務の中でシャドーワークに追われないようにしたい
- ・もっと調剤薬局との連携を図る
- ・大きな病院との連携方法、コツなど試してみたいと思いました。
- ・薬剤師との連携
- ・大規模病院への医師に対する意見書を FAX しても返送がないことがあるため、連携室を通して返送が確実にもらえるような事をしていきたい
- ・本人・家族の希望や意見の相違、関わりについて
- ・意見の相違がある場合、本人、家族の共通の目標を再確認する

(薬剤師)

- ・ケアマネジャーや多職種とこまめに情報共有していこうと思いました。
- ・多職種と密に連絡がとれるようにしたい
- ・多職種の方との連携
- ・利用者様の生活の改善案について医療者の立場での気づきを大切に積極的に共有していく
- ・在宅の報告書でケアマネの知りたいことなど聞けたため、今後の報告書作成に役立てたい

・CMの「つなぐ」役割に応じて連携していくための積極的な対応と相談先として認知してもらえるようにするための関係づくり（協力できることを知ってもらう）

・CMに薬剤師としてできることを伝えていく。来局された方の介護度など聞き取れる場合は積極的に確認していく。

・ケアマネとの関わり方

・ケアマネと担当患者のサ担会議開催

・在宅報告書の記載内容について

・薬の情報と現在の処方薬、リスクについても報告を行う

・患者さんとの家族とのかわり

・薬局に勤務しているとなかなかケアマネと連携がとれない（在宅になるまでケアマネが誰かもわからない）が、もっと積極的に連携がとれるようにしていきたい。

（その他）

・介護士：正しい、間違っているではなく傾聴することの大切さを学ばせていただきました。

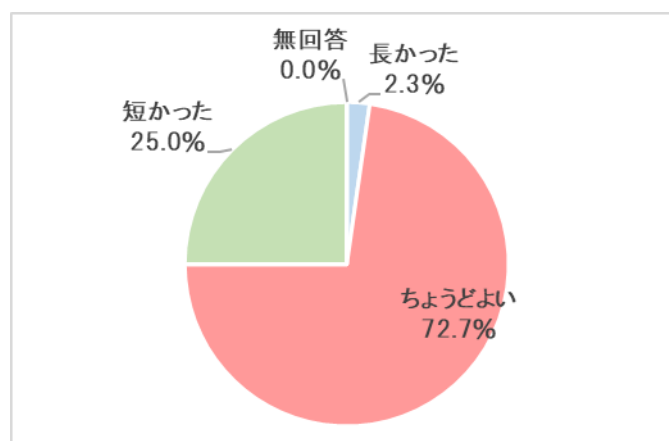
・栄養士：普段業務の振り返りができました

・PT：ケアマネに必要な情報を提供していく

（２）意見交換会について、お伺いいたします。

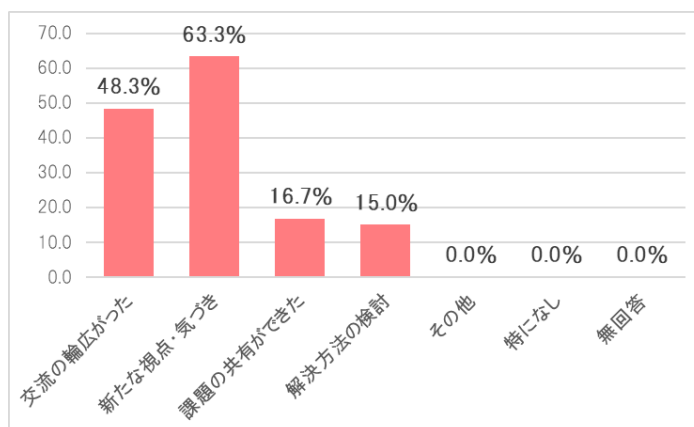
①意見交換会の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	1	2.3
ちょうどよい	32	72.7
短かった	11	25.0
無回答	0	0.0
合計	44	100.0



②本日の意見交換会では、どのような成果が得られましたか？

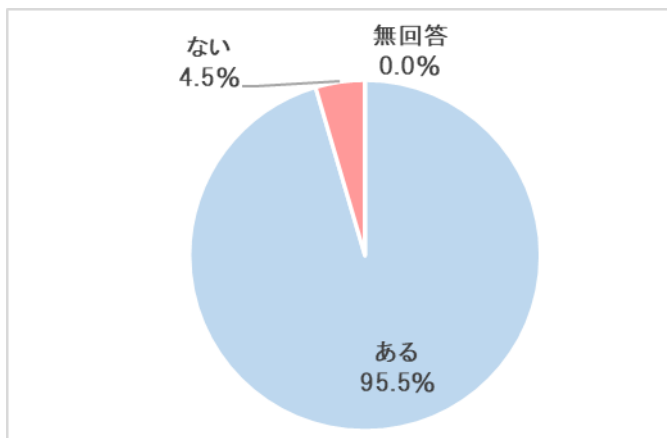
	人数	割合
交流の輪広がった	29	48.3
新たな視点・気づき	38	63.3
課題の共有ができた	10	16.7
解決方法の検討	9	15.0
その他	0	0.0
特になし	0	0.0
無回答	0	0.0



(3) 在宅療養の支援についてお伺いします。

① 日常の業務の中で、在宅療養に携わることがありますか。

	人数	割合
ある	42	95.5
ない	2	4.5
無回答	0	0.0
合計	44	100.0



② 円滑な在宅療養支援のため、日頃実践していることや、課題に感じていることを教えてください。

【実践していること】

(ケアマネージャー)

- ・ 急な病変も考え対応する
- ・ 身体状況の安定、健康チェック
- ・ 医療との連携
- ・ 訪問看護や介護のサービス中に訪問するようにして連携をとるようにしている
- ・ 訪看との連携を密にする
- ・ 顔の見える関係作り
- ・ 医療職との連携
- ・ 関わっている事業所への情報共有や確認
- ・ 連携ノートの導入

(薬剤師)

- ・ こまめな情報共有
- ・ ケアマネに役立つ情報を伝えたい
- ・ 何かあった際は、紙でのやり取りだけではなく電話や直接お会いして関係づくりをしている。
- ・ 患者様との話し合い
- ・ 医師、看護師、介護士との情報共有
- ・ 多職種と会うこと
- ・ 多職種からの利用者の関する情報を参考にして、訪問時の対応を実施及びフィードバック
- ・ 患者の意見の吸い上げ
- ・ 服薬コンプライアンスの状況

(その他)

- ・ 介護士：連絡ノートの活用を行い情報の共有（在宅において）
- ・ 栄養士：本人や家族の意向を優先している
- ・ PT：自宅でのADL、QOLの確認をしている

【課題に感じていること】

(ケアマネージャー)

- ・主治医により連携が図れないことがある
- ・急変時の対応
- ・医療用語で言われると分からない時がある
- ・本人、家族の希望とできることに差がある
- ・大きな病院との連携
- ・医師から十分な情報が連携しにくかったり、情報が聞けないことがある
- ・ノートに記入はサービス業者のみ。家族に記入がない。
- ・社会資源が足りないと感じる

(薬剤師)

- ・薬剤師は連携をどうすればうまく築けるか
- ・多職種連携を強化したい
- ・訪看との薬の管理の分担
- ・話し合いの内容の共有
- ・ケアマネとの連携
- ・CM、多職種との連携度が事業者によってかなり差がある
- ・多職種関わり（直接）
- ・多職種とのより密な関係

(その他)

- ・介護士：薬の管理
- ・栄養士：かかりつけ医との連携
- ・PT：どこにどのような情報を伝えていいのかわからない

③どのようなツールがあれば、連携しやすいですか。

(ケアマネージャー)

- ・関わりある職が時間などに関係なく書き込みや確認ができるツール
- ・緊急連絡方法として、誰に優先順位をおくかのツール
- ・MCS(使いづらい)。LINE（誰でも使えそう。写真等や電話もリアルタイム）

(薬剤師)

- ・記入も簡単でシンプルな連携ノートがあればと思う
- ・多職種で共有できるツール。ライン、ワークス等。
- ・多職種で問題や方向性を共有できるツール
- ・決まった枠組み
- ・多職種のグループチャットなど
- ・利用者に携わる多職種が同一のところで支援に関する或いは、訪問時の状況を共有できる ICT ツール普及が進むと（実際に導入して経験するも）有効と考える。
- ・MCS
- ・MOS のような電子ツールで、リアルタイムで状況を共有しやすいものがあるとよいと思う。

・ケアマネと連絡を取りたい時に、本人がケアマネの名前しかわからない（どこの事業所かわからない）ことが多い。例えば医療機関受診時等にケアマネの確認をしてもらうとか何かできたらありがたい。

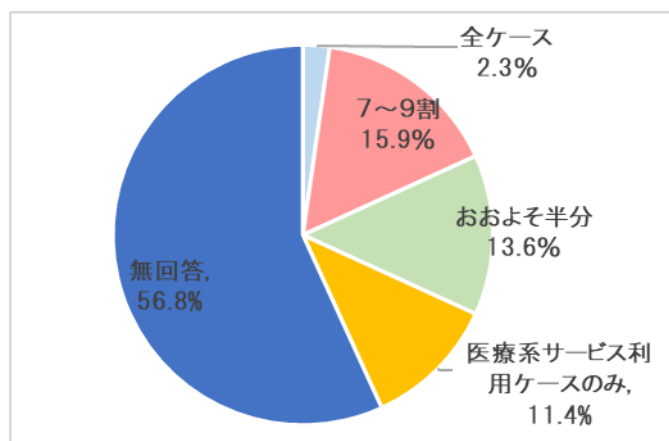
（その他）

- ・看護師：SNS など
- ・介護士：関係者との情報共有ができる掲示板のようなアプリや制度、仕組みがあれば有難い
- ・栄養士：連携手帳はとても利用しやすいです。今後も活用していきたいです。

介護支援専門員の方にお伺いします。

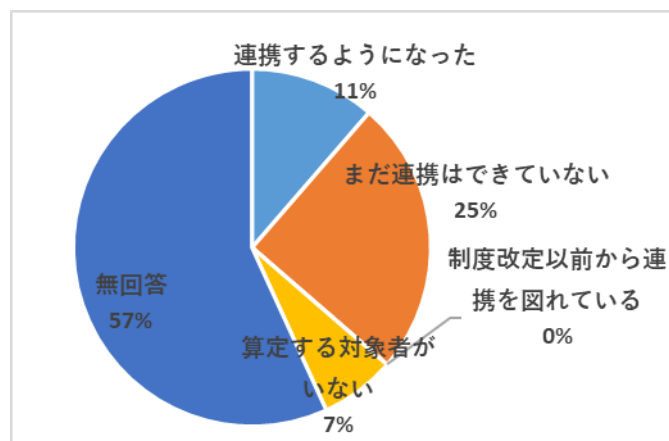
④担当ケースの医療機関と連携は図れていますか。

	人数	割合
全ケース	1	2.3
7～9割	7	15.9
おおよそ半分	6	13.6
医療系サービス利用 ケースのみ	5	11.4
無回答	25	56.8
合計	44	100.0



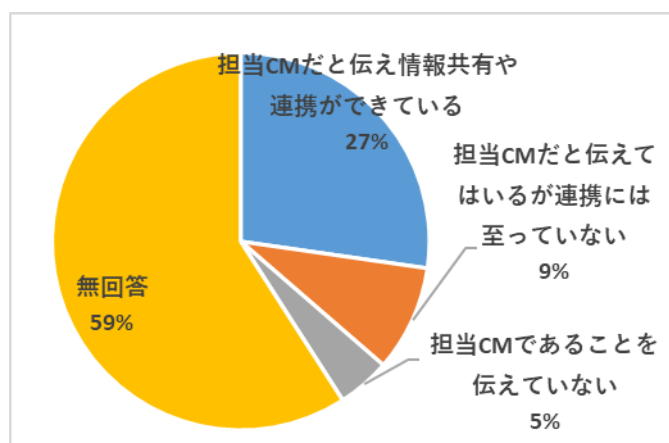
⑤通院時情報連携加算に歯科医師との連携も算定要件となり、実際に連携が図られていますか。

	人数	割合
連携するようになった	5	11.4
まだ連携はできていない	11	25.0
制度改定以前から連携を 図れている	0	0.0
算定する対象者がいない	3	6.8
無回答	25	56.8
合計	44	100.0



⑥保険薬局との情報共有や連携は図られていますか。

	人数	割合
担当CMだと伝え情報共有や連携が できている	12	27.3
担当CMだと伝えてはいるが連携には 至っていない	4	9.1
担当CMであることを伝えていない	2	4.5
無回答	26	59.1
合計	44	100.0



(4) 今後、どのようなテーマの研修会や意見交換会を行ってみたいですか。

(ケアマネージャー)

- ・ AED を使うような状態の実際に助けられたケースの話
- ・ 困ったときに活用できる保険外サービスを知りたいです。社会資源として活用したいです。
- ・ 保険外サービスについて

(薬剤師)

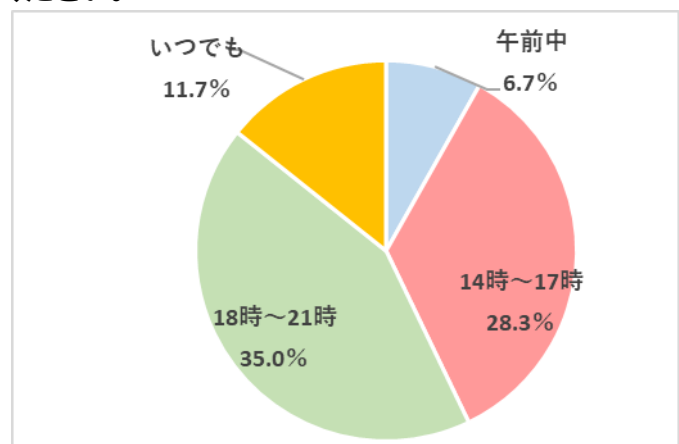
- ・ 各職種の業務内容、業務をしているうえでの悩み
- ・ 情報共有の仕方
- ・ 在宅介護支援が必要なケースの気づきから、多職種連携の構築に成功した事例について
- ・ なんでも

(その他)

- ・ 介護士：ターミナルケアについて
- ・ 栄養士：身寄りのない人の支援（独居の方の支援）

(5) 研修会などに参加できる時間に○をつけてください。

	人数	割合
午前中	4	6.7
14時～17時	17	28.3
18時～21時	21	35.0
いつでも	7	11.7
無回答	5	8.3



(6) 最後に、お気づきの点や、ご感想などがありましたら、自由にご記載ください。

- ・ 本日はありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 大変気づきを得ることができた。ありがとうございました。
- ・ 定刻で閉会できるようご配慮をお願いします。
- ・ 事例提供者の支援経過を聞くことができ大変勉強になりました。
- ・ 貴重な機会をありがとうございました
- ・ 多くの人と情報の交換等できてよかった
- ・ もっと多職種の方が参加する集まりになるとよいと思います。参加している職種に合ったグループワークができるとよい。
- ・ なるべく時間内に終わらせていただけると助かります。